

3歳児の事故予防

今日から始める事故予防

子どもの死亡原因の多くに「不慮の事故」がありますが、子どもの事故は、年齢別に起こりやすい原因も対策もある程度わかっています。3歳になると、成長とともに活動範囲が広がり、それまでは思いもよらなかった事故が起こることもあります。

発達とともに子どもの活動も変化し、減る事故がある半面、これまで以上に注意が必要な場面も出てきますので、子どもに危険を伝えたり、生活環境の見直し等の対策をしましょう。

窒息、誤飲

- ・ 食べ物は1cm程度まで小さくする
- ・ おもちゃ購入時は、対象年齢を必ず守る
- ・ 年上の兄弟のおもちゃは、対象年齢に届くまで手の届かないところに保管する
- ・ たばこは子どもの目に触れない場所、手が届かない場所に置く
- ・ 包装フィルムやシールがついているものでは遊ばせない



水まわりの事故

- ・ 大人が髪を洗うときは、子どもを浴槽から出す
- ・ お風呂から上がるときは子どもを先に出す
- ・ 入浴後は浴槽のお湯を抜き、浴室に子どもが入れないようにする
- ・ 子どもだけで海や川で遊ばせない

ベランダ、窓からの転落

- ・ ベランダは子どもの遊び場にしない
- ・ 窓に補助錠やストッパーをつけて、大きく開かないようにする
- ・ 窓の近くにベッドやソファなど踏み台になるものは置かない
- ・ 網戸によりかかれぬよう柵を設置する



遊具からの転落

- ・施設や遊具の対象年齢を守る
- ・遊具の遊び方、使い方を教える
- ・大人が付き添い、目を離さないようにする
- ・紐やフードのない服で遊ばせる
- ・水筒やマフラーなど引っかかるものは身につけないで遊ばせる



自動車、自転車関連

- ・必ずチャイルドシートを使用する
- ・車のドアや窓を閉めるときは、子どもの顔や手が出ていないか確認する
- ・子どもが自分で開閉操作ができないように、ロック機能を活用する
- ・子どもだけを置いて自動車や自転車から離れない
- ・自転車は乗せる前にヘルメットをつけ、必ずシートベルトをしめる

道路上での事故

- ・子どもと歩くときは必ず手をつなぐ
- ・交通ルールについて教える
- ・道路越しに子どもに声はかけない



対策⑦ はさむ、切る等の事故

- ・包丁、ナイフ、はさみ等は子どもの手が届かないところに置く
- ・キッチンには危険なものがたくさんあるので、ベビーゲートなどで子どもが入れないようにする
- ・ビーズやプラスチックの玉、小さなおもちゃは子どもの手が届かないところに置く
- ・ドラム式洗濯機は、未使用時は蓋を必ず閉めて、チャイルドロック機能を利用する。
- ・歯磨き中は歯ブラシを口にくわえたまま歩かないようにする
- ・箸やフォークなど喉突きの危険性がある日用品は口に入れたまま歩いたり、走ったりしないようにする
- ・エスカレーターを利用する際は、必ず大人が手をつなぐ

問い合わせ先

湯沢市子ども未来課子ども子育て応援班

☎ 0183-55-8275